

# 平成23年度 事業報告書

# 1 船舶等の航行安全に関する事業

## (1) 航行安全のための啓発活動及び安全パトロール

### ① 浜名湖安全パトロール

浜名湖におけるレジャー船の航行安全の啓発（利用者のマナーの向上・違反者に対する指導）及び通航届出制度の周知徹底を図るため、安全対策部会を中心として、安全パトロールを実施した。

安全対策部会では、実施方法、実施結果の検討・協議を行った。

ア 実施期間	7月16日～8月28日の間の計12日間及び	
	10月1日～10月9日の間の計4日間	合計16日間
イ 参加人員	延べ86人	
ウ 参加団体	15団体	
エ 指導件数	133件	

#### 指導内容

1 区域外遊走	42件
2 今切口での釣り	32件
3 水路内での釣り	29件
4 マナー	9件
5 ライフジャケットの着用	6件
6 海水浴場付近での遊走注意	5件
7 その他	10件

(水路標識杭等への係留、遊泳者への注意)

### ② 安全講習

浜名湖における航行安全の啓発を図るため、通航届出者を対象に、通航届出受付窓口61ヶ所において航行安全講習を実施した。

### ③ 航行安全啓発資料の作成・配布

浜名湖における船艇等の安全の確保・水域の適正な利用を図るため、次のとおり啓発資料の作成・配布を行った。

ア 機関紙（ルールとマナー）	5,200部
イ 安全啓発ポスター	210枚
ウ 安全航行啓発チラシ	7,200枚
エ 安全講習会資料	5,000部
オ 安全講習会用DVD	120枚

カ 浜名湖の係船対策パンフレット	2,000 部
キ 浜名湖の放置艇・係船対策資料	1,000 部
ク 安全啓発品（フローティングキーホルダー）	2,000 個

## （2）航行安全施設等の設置維持管理

### ① 航行案内標識等の設置維持管理

浜名湖における船艇の事故防止を図るため水路標識等を設置しているが、衝突等により破損した水路標識杭・看板の補修等を行った。

また、安全航行の支障とならないよう水路標識杭の破損等の現況調査や杭の打ち替えを行った。

#### 水路標識杭

- ・中央水路 18 番 ・鷺津水路 7 番 ・気賀水路 3 番 計 3 本
- 船舶安全航行看板（注意!! 徐行・右側通航）
- ・浜松市北区三ヶ日町大崎地先 1 箇所

### ② 通航制限水域表示ブイの維持管理

静岡県河川管理条例により、細江湖及び猪鼻湖の一部が、7月～9月の土曜日及び日曜日に限り、通航制限水域を一部解放することから、この水域を示すブイ 20 個の揚降管理を行った。（細江湖…12 個、猪鼻湖…8 個）

## （3）船艇の登録

### ① 通航届出済証の交付事務

県からの受託事務として、浜名湖を航行する発動機付船艇所有者からの通航届出の受付と浜松土木事務所への進達並びに届出者に対する通航届出済証の交付を行った。

対 象 期 間	通航届出受付件数	通航届出済証交付件数
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	2,721	2, 721
うち新規	248	248

### ② 通航届出番号の発行及び船艇登録台帳の整備

浜名湖の航行安全と適正な係留を図るため、通航届出者に「通航届出番号」（ステッカー）を発行するとともに、船艇登録台帳を整備した。

### ③ 船艇登録パトロールの実施

浜名湖の船艇登録制度（通航届出制度）の周知徹底を図るため、「通航届出番号」不貼付の船艇に対し登録警告書を貼付した。また、当財団管理係留施設内に無断係留している船舶の調査も併せて実施した。

実施期間            11月14日～11月21日            5日間  
警告書貼付船艇    1,174 隻

## 2 公共係留施設の管理運営に関する事業

### (1) 湖面の適正利用の促進

湖面の一層の適正利用を図るため、水域管理者（県・浜松市・湖西市）が実施する放置艇対策に協力し、不法係留船・放置艇の調査（パトロール）、指導、撤去を行った。

・調査（パトロール）    25回  
・撤去                        14回

### (2) 公共マリーナの管理運営

放置艇を解消するため、県及び市町が整備した公共係留施設に財団が船舶係留施設を整備し、その施設の管理運営を行っている。

契約隻数： 公共マリーナ 7箇所 1,695隻、公共係留施設 17箇所 980隻

計 2,675隻(H24. 4.1現在)

#### ①宇布見公共マリーナ(通称 ユーテラス)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	251 隻	
浮棧橋	3基 L= 348.8 m	
係留杭	500 本	
工事費	95,025千円	財団施工 平成 11 年 4 月完成
②護岸係留	204 隻	
係留杭	300 本	
工事費	15,435千円	財団施工 平成 11 年 5 月完成
③収容隻数合計	455 隻	契約隻数 445 隻
係留杭合計	800 本	
工事費合計	110,460千円	外部工事 県施工 1,027,000千円
④駐車場収容台数	191 台	

②入出公共マリーナ(通称 コデマリン)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	210 隻	契約隻数 192 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	3基 L=323.8 m	財団施工 平成 12 年 4 月完成
工事費	117,873 千円	外部工事 県施工 401,000千円
②駐車場収容台数	83 台	

③伊目公共マリーナ(通称 マリーナ唐洲崎)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	280隻	契約隻数 265 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	4基 L= 404.4 m	財団施工 平成 16 年 3 月完成
工事費	153,300 千円	外部工事 県施工 1,301,000 千円
②駐車場収容台数	80台	

④三ヶ日公共マリーナ(通称 オレンジマリーナ)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	130 隻	契約隻数 123 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	2 基 L= 190.4 m	財団施工 平成 20 年 3 月完成
工事費	79,060 千円	外部工事 県施工 862,000 千円
②駐車場収容台数	98台	

⑤伊佐地川公共マリーナ

区 分	規 模	備 考
①護岸係留	120 隻	契約隻数 103 隻
係留杭	252 本	財団施工 平成 20 年 12 月完成
工事費	31,542 千円	外部工事 県施工 1,035,000 千円
②駐車場収容台数	96 台	

⑥伊佐見公共マリーナ(通称 はまゆうマリーナ)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	400 隻	契約隻数 380 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮 棧 橋	9基L=609m	財団施工 平成 23 年 3 月完成
工 事 費	271,028 千円	外部工事 県施工 1,400,000 千円
②駐車場収容台数	122 台	

⑦浜名公共マリーナ

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	200 隻	契約隻数 187 隻
係 留 杭	406 本	
工 事 費	155,400 千円	財団施工 平成 23 年 3 月完成
②駐車場収容台数	20 台	

◎公共マリーナ施設利用料金

船 長	月 額	年 額
6m以下	6,930 円	83,160 円
6m超8m以下	9,870 円	118,440 円

※ 県外在住者は上記金額の2割増

⑧公共係留施設

区 分	規 模	備 考
箇所数	17 箇所	
護岸係留	1,105 隻	契約隻数 980 隻
係 留 杭	8,282 本	
工 事 費	515,670 千円	財団施工 平成 11 年度～17 年度完成

◎公共係留施設利用料金

区 分	船 長	月 額(県内)	年 額
公共係留施設A	6m以下	5,863 円	70,350 円
	6m超8m以下	7,525 円	90,300 円
公共係留施設B	6m以下	4,550 円	54,600 円
	6m超8m以下	5,863 円	70,350 円
公共係留施設C	6m以下	3,255 円	39,060 円
	6m超8m以下	3,990 円	47,880 円

※県外在住者は上記金額の2割増

(3) PBS 管理業務受託事業(舞阪町舞阪地区県港湾事業)

県が、港湾事業により整備した舞阪地区係留施設の管理業務を受託している。

区 分	延 長	規 模	工 期	整備費	契約隻数
蓬莱園 A	L = 352 m	121 隻	H 4～H12	439,500 円	89 隻
乙女園 B	L = 370 m	117 隻	H12～H15	306,100 円	103 隻
観月園 C	L = 430 m	140 隻	H19～H20	343,900 円	121 隻
千鳥園 D	L = 465 m	143 隻	H20～H21	360,782 円	131 隻
計	L = 1,617 m	521 隻		1,450,282 円	444 隻

◎PBS 利用料金

管理区分	条件	6m以下	6m超8m以下
県土木事務所	1 種	61,080 円	91,680 円
	2 種	122,280 円	183,480 円

※利用料は県条例、県外在住者は上記金額の 2 割増

1 種艇 2 種艇以外の PB

2 種艇 船幅 2.3m 以上かつ投影面積(船長×船幅)が 13 m<sup>2</sup>以上の PB

### 3 その他目的を達成するために必要な事業

(1) 会議の開催及び各種会議への出席

① 財団の会議

財団の事業を推進するため、会議を開催した。

ア 理事会・評議員会・監査

開催月日	区 分	議 事 等	会 場
5 月 12 日	監査	平成 22 年度事業報告・収支決算監査	静岡銀行他
5 月 26 日	理事会	平成 22 年度事業報告・収支決算報告 評議員会の招集	浜松市地域情報センター
6 月 15 日	評議員会	平成 22 年度事業報告・収支決算報告 評議員の選任	〃
3 月 22 日	理事会	平成 23 年度補正予算 平成 24 年度事業計画・収支予算案 資金調達及び設備投資の見込み	〃

## イ 運営委員会

開催日	部会名	議 事 等	会 場
5月18日	企画運営委員会	平成22年度事業報告・収支決算報告 評議員の選任	浜松総合庁舎
6月22日	安全対策部会	パトロールの実施	〃
2月28日	係船対策部会	新規艇の受入検討 不法係留船への対応 公共係留施設の係船杭の整備 公共係留施設Cの利用料金の廃止	〃
3月15日	企画運営委員会	平成23年度補正予算 平成24年度事業計画・収支予算案 資金調達及び設備投資の見込み	〃

## ② 係船対策会議

係船施設の整備促進及び取扱いのため、関係機関と打合せを行った。

開催日	会議名	主催及び参加機関等	会 場
7月13日	浜名湖水域利用推進調整会議幹事会	浜松土木事務所 県河川砂防管理課、港湾企画課 浜松市、湖西市他	浜松総合庁舎
2月24日	浜名湖水域利用推進調整会議幹事会	浜松土木事務所 県河川砂防管理課、港湾企画課 浜松市、湖西市他	浜松総合庁舎

## ③ 各種会議

浜名湖の環境整備と秩序ある利用を図るため、関係機関及び関係団体が主催する会議に出席した。

開催日	会議名等	主催	会場
5月24日	水難事故防止対策協議会	静岡県危機管理部	県庁
9月28日 ～29日	マリーナ視察研修会	日本マリーナビーチ協会	香川県
10月21日	水難事故防止対策協議会	静岡県危機管理部	県庁
10月27日	プレジャーボート対策研究会	日本マリーナビーチ協会	東京海事センター
12月21日	静岡県海面利用協議会	静岡県水産資源課	県庁
1月26日	静岡県マリーナ協会総会	静岡県マリーナ協会	ホテルウェルシー ズン浜名湖
1月30日	中部地区廃船処理協議会 プレジャーボート対策連絡会議	国土交通省中部運輸局	名古屋合同庁舎
2月7日	プレジャーボート対策研究会	日本マリーナビーチ協会	東京海事センター



(2) 地元各種行事への協力参加

財団パトロール艇を活用して、各種行事等における安全指導や協力参加を通じて、湖面の事故防止、安全確保に努めた。

開催日	内 容	会 場
6月23日	県マリーナ協会・湖西市消防本部合同水難救助訓練警備	入出公共マリーナ
6月29日	県マリーナ協会・浜松市消防局合同水難救助訓練警備	浜松市西区館山寺
7月2日	「ふじのくに海の安全 2011」 浜名湖合同パトロール参加	宇布見公共マリーナ
2月6日	浜名湖合同潜水捜索訓練警備	宇布見公共マリーナ